



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2014-2015年度 国際ロータリーのテーマ

2015年



クラブ会報・情報委員会

LIGHT UP ROTARY
R.I 会長 ゲイリー C . K . ホアン

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 坪井 良廣 幹事 須永 博之

後藤圭一・桑原志郎・塚越平人・吉野雅比古・立澤俊明

3月9日号

第2933回例会

(2月23日(月) - 例会変更 -)

RID2840 第2分区A INTERCITY MEETING

日時:平成27年2月21日(土) 点鐘:午後3時30分 場所:桐生市市民文化会館

第1部

点鐘 ガバナー補佐 竹内靖博君
国歌斉唱「君が代」 ソングリーダー 岸田信克君
ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
来賓の紹介 ガバナー補佐 竹内靖博君
RID2840

ガバナー(太田RC) 竹内 正幸君
パストガバナー(桐生RC) 疋田 博之君
地区幹事(太田RC) 春山 和夫君
地区副幹事(太田RC) 大塩 孝君
地区補助金委員長(桐生西RC) 下井田秀一君
国際奉仕委員長(桐生赤城RC) 渡辺 幸男君
女性ネットワーク委員長(桐生中央RC) 菊地雅子さん
グローバル補助金委員(桐生西RC) 家住 慧路君
青少年交換委員(桐生赤城RC) 須永 聡介君
危機管理委員・ロータリーの友地区代表委員(桐生RC)

松島 宏明君
堀 明君
山崎 一順君
大友 一之君
桑原 志郎君

桐生 5RC 会長幹事
桐生 南ロータリークラブ 会長 船山 克人君
桐生 南ロータリークラブ 幹事 鈴木 章弘君
桐生 西ロータリークラブ 会長 向田 靖君
桐生中央ロータリークラブ 会長 小野 真康君
桐生中央ロータリークラブ 幹事 須永 登君
桐生赤城ロータリークラブ 会長 羽田野恭男君
桐生赤城ロータリークラブ 幹事 清水 洋君
桐生 ロータリークラブ 会長 坪井 良廣君
桐生 ロータリークラブ 幹事 須永 博之君

開会の言葉

IM実行委員長
牛腸 章君



本日は公私共にお忙しい中、竹内正幸ガバナーを始め地区役員の皆様方、桐生の5つのロータリークラブの仲間の皆さん多数 IM に参加戴きまして誠に有難う御座います、心より御礼申しあげます。昨年度より復活致しました IM ですが今年度竹内ガバナーは昨年度より更に一歩踏み込んだ IM を開催すべく二つのテーマを提唱致しました。1つは「シニアメンバーの活用」2つめが「奉仕活動の多様性の模索」で御座います、このテーマを受けて2分科会を開催するにあたり、準備会を立上げ各クラブより2名のメンバーを出向して頂き内容、運営方法等を共に検討して戴きました、よって今回の分科会は5RC の共催と言っても過言でなく、全会員が積極的に参加する事により充実した分科会となり、今後のロータリー活動の参考になれば幸いです。

又 2部の懇親会はガバナーの公式訪問後に行われる恒例のガバナー歓迎会を兼ねる事になっておりますのでご了承お願い致します。IM は会員同士の研修会と親睦と言われておりますが私は、以前大先輩から IM はロータリーのお祭りだから会員同士多いに語り、多いに面識を広げ楽しむ事と教えて頂きました。今日は5時間足らずの短い時間ですが参加会員全員でお祭りを楽しんで戴きたいと思ひます。それでは只今より国際ロータリー第2840地区第2分区AのIMを開会致します。

歓迎の言葉

桐生 RC 会長
坪井 良廣君



本年は桐生ロータリークラブから第2分区 A ガバナー補佐竹内靖博君を輩出しております。

そこで、桐生が主管し、インターシティーミーティング(IM)を開催することになりました。

今回の IM に対して、桐生ロータリークラブ全体で応援協力ができる体制づくりが必要と考え実行委員会を組織し準備をしてきました。そこで、お願いしましたのが、牛腸章 IM 実行委員長、本田事業担当副実行委員長、野間懇親会担当副実行委員長、桑原総務部会、大友、村田事業部会、坂入懇親部会とその委員の方々と、桐生ロータリークラブが誇る最強の人材で対応させていただきました。

竹内ガバナーの 分区内会員同士の親睦と交流、シニアメンバーの参加と効用、クラブ独自の事業特色ある活用の課題を受けて、2つの分科会と懇親会を企画いたしました。本日は、190名の登録を頂き活気溢れる、充実した IM が出来ますことは、ホストクラブとして感無量であります。

最後に、第2分区 A 各クラブの皆様の多大なご協力、ご支援に感謝すると共に、今後益々のご活躍をご祈念申し上げ歓迎の言葉とさせていただきます。

挨拶

ガバナー補佐
竹内 靖博君



皆さん、こんにちは本日はご多忙中のところ国際ロータリー第2840地区第2分区 A の大勢の皆様にお集まりいただき、また、地区からも竹内ガバナー、春山幹事、大塩副幹事にもご出席頂きまして誠にありがとうございます。只今から今年度の地区として年度後半の一大イベントでありますインターシティーミーティングを開催する事になりました。そもそも IM とは読んで字のごとく、その地区や都市の複数のクラブの連合会のごとく、主に分区内のクラブ合同の五大奉仕部門に渡る自由討論の場であります。その目的は会員相互の親睦と面識を広め、他クラブの現況を理解しながら会員にロータリー情報を伝える事にございます。これは一般的には分区単位で実施されることになっておりますが、第二分区はクラブ数も多いものですから A.B で夫々行うことになりました。ホストクラブは桐生ロータリークラブですが、実行委員会を立ち上げまして桐生地区の各クラブの素晴らしい代表選抜委員の方々の協力を得まして本日の IM を迎えることが出来ました。分科会におきましてはガバナーからの要望にも十分に配慮致しまして第一分科会においては「経験を力に、次代へ～シニアメンバーから

の提言へ」第二分科会では「奉仕活動の今後(5RC 合同事業の可能性を探る)」と題しまして、パネルディスカッションを行う事になりました。有意義なこれからの各ロータリークラブ運営の為に良き指針となりますこと、心から祈念致しましてご挨拶に代えさせていただきます。本日はご出席誠にありがとうございました。

挨拶

RID2840
ガバナー
竹内正幸君



分科会 第1分科会

『経験を力に、次代へ～シニアメンバーからの提言～』

趣旨 過去に実施したロータリークラブの奉仕活動の中で印象に残る活動、クラブライフを通じて楽しかった・苦しかった想いで等を経験豊かな先輩ロータリアンにお話いただき、第2分区 A の各ロータリークラブの今後に活かしていただくこと。



「AG 次代に学んだ事！」

桐生南 RC
大友昭久君

「例会出席はロータリーの基本」

桐生西 RC
金子福松君



「子供達の情熱に接して」

桐生中央 RC
酒井豊君

「桐生赤城 RC 入会とその思い出」

桐生赤城 RC
町田裕一君



「私のロータリー活動と生涯の友」

桐生 RC
舘盛治君



第2分科会

『奉仕活動の今後“5RC 合同事業の可能性を探る”』
開会挨拶 IM 実行副委員長 本田雄一郎
ガイダンス

IM 事業部会
村田 勝俊



未来の夢計画関係の情報提供

桐生西RC
下井田秀一君



各ロータリーにおける奉仕活動状況と過去に
実施された桐生地区5RCの合同事業について
IM 事業部会 村田 勝俊

グループ・ディスカッション

テーマ「5RC 合同事業の可能性」について

	発表者	クラブ名	進行係(桐生RC)
A	堀 明 君	桐生RC	柳 明彦
B	薊 勝 君	桐生南RC	高橋弘史
C	家住慧路君	桐生西RC	森 末廣
D	須永 登君	桐生中央RC	久保田寿栄
E	渡辺幸男君	桐生赤城RC	朝倉剛太郎
F	前原 勝君	桐生RC	園田 誠

1. 実施概要

【テーマ】 IM 第2分科会では、「奉仕活動の今後 “5RC の合同事業の可能性”」をテーマとしましたが、これはロータリークラブを取り巻く環境の変化や公共的イメージを向上させる必要性、ロータリー活動の幅を広げることの意義を勘案した時に、クラブの枠を超えた合同事業の可能性について議論する意味があるのではないかととの問題意識のもと決定されましたものです。桐生地区5RCは、各クラブが独自の事業を展開する一方、過去10年間の合同事業の実績として吾妻山自然歩道案内標識設置(2004年)、ドイツから5名のGSE受入(2005年)、毎年開催の群馬大学工学部・大学院留学生との交流会、宮城県南三陸町歌津吉野沢仮設集会所建設事業(2012年)があり、来年度では青少年交換プログラムの受入を予定しています。こうした実績を踏まえ、5RCの会長幹事会や合同例会を通じて培ってきた交流の基盤のもと今後の奉仕活動の選択肢として合同事業の可能性を議論することとしたものです。

【議論の目的と方法】 会長・幹事を含む各クラブの参加者52名の方が6つのグループに分かれ、グループ別のディスカッションを行う方法を採用しました。これによりIMの重要な役割である異なるクラブに属する会員相互の意見交流のために多くの時間を当てることができました。

ディスカッションの前には、地区補助金委員会の下井田委員長(桐生西RC)から『未来の夢計画』に関連して2840地区での共同プロジェクトの実例紹介と複数のクラブでの協力の方法についての説明を具体的にわかりやすく説明していただきました。

また、ガイダンスにおいて今回のディスカッションの目的は結論を出すことや案をまとめることではなく、意見交流が目的であること、そして議論を通じて他クラブの方と知り合いになり仲間を増やす機会とすることももう一つの目的であることを参加者の方に十分理解していただいた上でディスカッションを始めました。

ディスカッションでは、グループごとに配置された進行役(桐生RC)のナビゲートのもと、熱心な意見交流が行われた後、各グループを代表して6名の方に討議内容を簡潔に発表していただきました。

【意見交流】

発表内容を総括しますと以下の通りです。

(1) 総論としてはおおむね賛成。金額やマンパワー、公共的イメージの効果を考えれば合同でやるメリットは大きい。ただし、合同にすることで足並みをそろわせるのに時間がかかること、大きくなりすぎることによる難しさ、共同で行うことで時とともに却って事業が縮小してしまう懸念など注意すべき点があるとの指摘もあった。

(2) 合同事業の可能性がある分野、事業

・青少年交換プログラム受入

・地元を活性化する街づくり、夢などについての事業、(みどり市、桐生市の合併の動きを念頭に置きながら)

・高校生等学生による空き店舗活用事業

・群馬大学との交流

- ・子供のスポーツ、文化等の支援
(単独での事業継続に苦勞している現状の話もあった)
- ・清掃活動 桐生グランド、吾妻山、桐生川、桐生祭りの直後など
市民まきこみ型展開はできないか
- ・モニュメントづくり
- ・市民を巻き込んだ講演会
(日本紛争予防センター理事長瀬谷ルミ子さんなど)
- ・福島県人の桐生市への移住支援
- ・チャリティ・コンサートの開催
- ・ゴミ減量運動、ごみ箱の設置
- ・他の奉仕団体の表彰
- ・水沼～富広美術館間の桃の木植樹事業
(現在桐生赤城 RC で検討中)
- ・中学生職場体験実施企業を増やす
- ・グローバル補助金の活用
瀬谷ルミ子氏(日本紛争予防センター理事長)
- ・AED の設置
- ・各 RC の類似した事業の統合(清掃活動など)
- ・地区の富岡製紙場の清掃活動にちなんで伝建群の清掃活動
- ・老健施設関係
- ・1年1件やれるところからやってみてはどうか
清掃活動など入りやすく広げやすい事業の実施
- ・チャリティ基金の設置
- ・グローバル補助金事業を5RC で実施してはどうか
共同となれば予算も大きくなる
- ・震災関連事業 福島県原発での帰宅困難者を対象として桐生に定住する上での支援事業
- ・ロータリー以外の他団体と5RC の協同事業
- ・いじめの問題
- ・青少年活動の支援 マーチング、ボーイスカウトなど
- ・かくれた奉仕活動者の表彰
- ・除雪作業 等々

2. まとめと展望

今回 IM では6つのグループ全てにおいて活発な意見交流ができたこと、その結果、様々な分野の合同事業の可能性が提起されたことが大きな収穫でした。ロータリーの公共的イメージが醸成される市民参加型の講演会やチャリティ・コンサートやグローバル補助金を活用した事業は、資金とマンパワーを多く必要とすることから合同事業に適していること、各クラブの共通的事业を合同事業化するなど既存事業の統合化による事業のリフレッシュと強化ができること、街づくりと青少年奉仕をマッチングするなど新たな奉仕分野へのチャレンジなど、合同事業の可能性について肯定的な提案がなされたことも将来のプロジェクトを行う上で多いに参考になると考えます。

では具体的にはどのようなプロセスを経て合同事業に取り組んだらいいのでしょうか。あるグループからは、「1年1件やれるところからやってみてはどうか。清掃活動など入りやすく広げやすい事業をとりあげてみてはどうか」という意見がありました。合同事業というと人・もの・

金が大きく必要とされるとつい思いがちですが、各クラブが実施している清掃活動を合同事業化することも合同事業を定着化させる近道なのかもしれません。

実際に事業化するためには、5RC の会長幹事会で検討し、決定する必要があるかと考えますが、合同事業を検討する横断的な委員会を第2分区 A 内に設けることも現実的な方法かもしれません。

合同事業を行うことでかえって独自事業の良さを失ったり、尻つぼみになったりすることは避けなければならないことは言うまでもありません。また、従来からの継続事業である群馬大学工学部留学生との交流会がマンネリ化しているのではないかと意見にも耳を傾け改善策を検討するなど様々な課題も見えてきました。

さて、IM の開催の仕方は IM 開催を担当するクラブを中心とした検討事項であります。今回実施したグループ討議という手法は一つの有力な方法となりうると考えています。実際、今回の参加者の方から「他クラブの人と共通のテーマでディスカッションして大変新鮮な刺激を受けた」と感想をいただきました。各クラブでさまざまな経験をされてきた参加者の方が、ロータリーならではの自由な雰囲気の中で他クラブの活動内容に触れ、共通のテーマについて議論し、共感と協力を生みだすことができます。地区からの情報伝達、教育研修も大切ですが、ロータリアン同士の意見交流の機会もまた重要ではないでしょうか。

最後に、IM 実行委員会の皆さん、発表者の方々、ディスカッションの運営を担った進行役の方々、そして第2分科会の主役であった参加者の皆さんに感謝申し上げます。
(文責：桐生 RC 村田勝俊)



講評

ガバナー 竹内正幸君

点鐘

ガバナー補佐 竹内靖博君

竹内正幸ガバナー歓迎会

司会 水越稔幸君

開会

IM副実行委員長
野間 義弘君



挨拶

ガバナー補佐
竹内 靖博君



乾杯

桐生5RC会長幹事会
幹事クラブ会長
小野 真康君



第1部の分科会に引き続きまして、竹内ガバナーの歓迎会を行います。今年度の第2840地区は、竹内ガバナーのバイタリティ - に引っ張られているような気がしております。日本で一番若いガバナーであり、地区大会も皆さんもびっくりしたと思いますが昨年の8月9日、10日と今年度、日本で最も早い開催となりました。確かに準備する方は、まだ新年度が始まって幾日もたっていないのですから、本当に各クラブの皆さんは大変だったと思いますが、その点J.KホーンRI会長方針や地区の方針がいち早く伝わり、会員の皆様にも早い時期に説明され理解されましたことは素晴らしいことと思います。会員の増強につきましても第2840地区の46クラブにおきまして2月1日現在107名のメンバーが増強されており、うち女性は21名、この第2分区Aにおきましても昨年7月より半年で21名増えております。特に女性会員は10名も増強しております。この事につきましては手前味噌になりますが私の所属しております桐生ロータリークラブは、62年間女性会員ゼロの状態が続いておりましたが今年度になって6名入会されましたことは特記すべきことと思います。これも今年度のガバナー方針である女性会員増強のための女性ネットワーク委員会を設置して積極的に勧誘した成果と大変嬉しく思っております。今年は、羊歳で群れを成して行動することから組織の改革と安泰を意味すると言われてきました。確かにその群れを報道で見えていますとその一群が規則正しくリーダーに従って移動し目的地に向かう姿は我々第2840地区のロータリアンの姿を思い浮かべさせるものがあります。そこで我々桐生の第2分区Aは揃って本日竹内ガバナーを心からお迎えして残りの5ヶ月を実りあるものにすることがガバナーに対する最大の歓迎になると思います。本日は、その一環として心からそのご苦労に報われる会にしたいと願っております。

歓談



アトラクション

「群馬観光特使 群馬のご当地アイドル あかぎ団 - AKAGIDAN - 」



ロータリーソング

「手に手つないで」



閉会の言葉

桐生RC会長エレクト 堀 明君

挨拶

ガバナー
竹内 正幸 君

